



学 校 だ よ り 特別号

京都市立春日野小学校 校長

當麻 章英



令和7年度前期の学校評価アンケートについてお知らせいたします

平素は春日野小学校学校教育に多大なご理解とご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、学校教育目標「自分ですすむ春日野っ子」に向けて、現時点でどこまで実現しているかをアンケートで問い、今後の学校教育をさらによりよく進めていけるようにと考えています。

以下は、アンケートの結果と分析した内容をお知らせいたします。

【児童アンケート結果】

(単位 %)

	質問項目	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
すてきな心	1 あなたは、今の自分が好きですか	42	36	18	4
	2 あなたは、今の自分がだめだと思うことがありますか	25	30	27	18
	3 自分にはよいところがあると思いますか	50	34	12	4
	4 自分はみんなの役に立っている	28	39	26	7
	5 自分には人(友達)の話をちゃんと聞くことができる	56	35	7	2
	6 自分には、自分のことをわかってくれる家族や友達がいる	66	28	5	1
	7 自分が正しいと思ったことは、はっきりといえる	35	40	19	6
	8 自分には得意なことがある	75	20	4	1
	9 自分らしさを大切にしたい	66	29	4	1
がんばる学習	10 授業はよくわかる	43	44	11	2
	11 授業中、進んで自分の考えを伝えている	36	36	22	6
	12 学習問題(めあて)に向かって学習を進めている	52	37	9	2
	13 学習問題(めあて)について、調べたり考えたりすることが好きだ	41	40	15	4
	14 学習問題(めあて)について、友達と話し合うことが好きだ	44	35	15	6
	15 学習予定表をみて、家庭学習を毎日している	47	25	18	10
のびのびいきいき 元気な体	16 学校生活が楽しい	65	28	4	3
	17 きまりやマナーを守って生活している	45	47	6	2
	18 困ったことがあれば、先生や友達に相談している	50	32	15	3
	19 進んで運動したり、休み時間は運動場で遊んだりしている	49	22	20	9
	20 早寝早起きし、朝ご飯をしっかり食べている	52	34	11	3
	21 食後、寝る前に歯磨きをしている	78	18	3	1
	22 地域の行事やスポーツに参加している	38	21	17	24

すてきな心の領域では、「3 自分にはよいところがある」の項目に置いて、84%の児童が肯定的に答えています。これは、昨年度同時期に取ったアンケート結果と比べて3%高くなる結果となりました。また、「6 自分をわかってくれる家族や友達がいる」の項目においては、94%の児童が肯定的にとらえ、周囲との信頼関係が築けている様子が今回もうかがえました。しかし、6%の児童が否定的なとらえ方をしています。学校教育では、子どもたちの自尊感情を高めるために人権教育に取り組んでいます。家族や友達に認められ、自分には良いところがあるという思いを持つと、心がいつも安らぎ自分に自信を

もって様々なことに挑戦しようとする意欲が高まります。これが学習の基盤となります。引き続き、学校でも子どもたちの自尊感情が高まるような声かけをしていきます。一方で、「2 今の自分がだめだと思うことがある」と答えた児童は55%ほどいます。自己肯定感が低く否定的な見方ととらえることができますが、これは、自分の課題をしっかりととらえることができていると考えることもできます。今後もめあてをしっかりともち、自分の課題を自ら解決する力を育てられるように支援していきます。

がんばる学習の領域において、「12 めあてに向かって学習をすすめている」と答えた児童は89%でした。本校は学校教育目標を「自分ですすむ春日野っ子」としています。自ら課題を発見し、課題解決に向けて主体的に調べ、考えて課題を解決する学習を繰り返し行うことで主体的に学習する子どもを目指しています。

「13 学習問題(めあて)について、調べたり考えたりすることが好きだ」と答えた子どもは、81%でした。昨年度の同時期のアンケートに比べ、微量ながら増加する結果となっています。問題を解決することが楽しい、学習が楽しいと感じられるような授業を構築し主体的な学びを支えていきたいと思います。

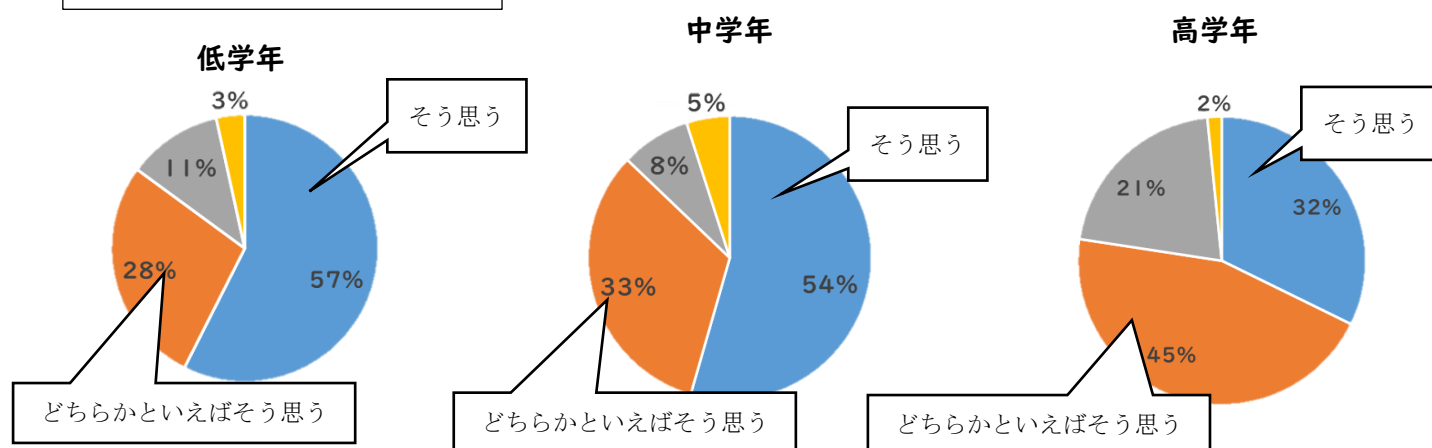
のびのびいきいき元気な体の領域において、「16 学校生活が楽しい」と答えた児童は93%となりました。昨年度の同時期のアンケートに比べて4パーセント高い結果となりました。しかし、学校生活が楽しくないと感じている児童も7%います。子どもにとって、多くの時間を過ごす学校生活が楽しいと感じることは一番大切なことです。「学校が楽しくない」と感じていることを重大にとらえ、全児童が楽しいと感じられるように、授業の工夫をしたり児童同士の関係をよく見て声かけをしたりしたいと思います。

もう少し踏み込んで結果を分析したことをお知らせいたします。

すてきな心の質問項目は 3 つに分かれていて、【1～3】は自己評価、【4～6】は他との関係の中での自己評価、【7～9】は自己主張・自己決定の質問となっています。自己評価の「3 自分にはよいところがあると思いますか」の質問項目は、「そう思う」と自信を持って答える児童の割合が高学年になるにつれて低くなる傾向があります。しかし、毎年全国で行われている6年生の「全国学力状況調査」の児童質問紙にも同じ項目があり、今年度の本校6年生は肯定的に答えた児童が82.9%で例年の6年生と比較しても高い数値となりました。また、「先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか」という質問に対しても、肯定的に答えた子どもの割合は97.5%でした。高い割合なのは、よいところを、すかさずにはめることで、自分には良いところがあると認識し、自己肯定感が育てられた結果だと思っています。

ここで学力調査と同じ内容の質問「3 自分にはよいところがある」と答えた児童は84%でしたが、低・中・高学年別に結果を見ると次のような結果となりました。

3 自分には良いところがある



昨年度と比べると「そう思う」と自信をもって答えた子どもは、低学年と中学年ともに10%以上増えましたが、高学年になると大幅に減る傾向は変わらない結果となりました。学校生活の中で、様々な経験を重ねて、自分に自信をつけて将来展望を明るくもってほしいと思うことは、私たち教職員の願いであると同時に、保護者の方の願いであると考えています。様々な活動の中で、人権教育の視点を大切に、良いところを認め、どんどんと伸ばし、自分に自信をもつことができる活動を積み重ねていきたいと思っています。

【保護者アンケート結果】

(単位 %)

	質問項目	そう思う		どちらかといえば そう思う		どちらかといえば 思わない		そう思わない	
		重要	実現	重要	実現	重要	実現	重要	実現
すてきな心	1 子どもは、今の自分が好きだと思っている	62	32	36	60	2	8	0	0
	2 子どもは、今の自分にだめな所があると思っている	16	14	51	54	30	29	3	3
	3 子どもは自分で自分のよいところを知っている	61	35	38	55	2	9	0	1
	4 子どもは、周りの人に役に立っていると思っている	39	25	54	58	6	16	1	1
	5 子どもは人(友達)の話をちゃんと聞くことができる	57	26	39	57	4	15	0	2
	6 子どもには、自分のことをわかってくれる家族や友達がいる	79	59	21	37	0	4	0	0
	7 子どもは正しいと思ったことを、はっきりと言える	46	25	48	51	5	21	1	3
	8 子どもにはだれにも負けないもの(こと)がある	48	33	42	44	10	21	0	2
	9 子どもは、自分を大切にしたいと思っている	73	37	26	56	1	7	0	0
がんばる学習	10 子どもは、学習している内容を理解している	51	21	41	58	7	20	1	1
	11 子どもは、自分から進んで学習をしている	40	18	44	43	14	32	2	7
	12 子どもは、めあてをもって学習に取り組んでいる	36	10	46	42	17	44	1	4
	13 子どもはわからないところを先生に聞くことができる	51	21	44	54	4	21	1	4
	14 子どもは家で読書をしている	33	14	38	20	20	35	9	31
	15 子どもは学習予定表をみて、家庭学習を毎日している	42	24	39	32	14	30	5	14
のびのびいきいき元気な体	16 子どもは楽しく学校生活を送っている	68	48	31	45	1	7	0	0
	17 子どもはきまりやマナーを守って生活している	60	33	38	60	2	6	0	1
	18 子どもは困ったことがあれば、先生や友達に相談している	57	23	39	55	3	20	1	2
	19 子どもは進んで運動をしている	53	40	37	33	9	23	1	4
	20 子どもは早寝早起きし、朝ご飯をしっかりと食べている	71	45	24	39	4	14	1	2
	21 子どもは食後、寝る前に歯磨きをしている	82	76	18	18	1	5	0	1
	22 子どもは地域の行事やスポーツによく参加している	19	10	48	36	26	36	7	18

保護者アンケートの結果から重要度の中ではほぼ100%の肯定的な回答になったのは「1・3・6・9・17・21」の項目でした。重要度は、保護者の皆様が子どもにこうなってほしいという願いであると考えています。今回も、実現度との隔たりがある結果となりましたが、保護者の思いを大切にして実現度と重要度の差が縮まっていくよう、学校教育を進めていきます。

「すてきな心」の領域では、重要度と実現度の隔たりが一番大きかったのが「7 子どもは正しいと思ったことは、はっきりと言える」でした。重要度は94%で実現度は76%でした。自己表現力や自信の不足、または場面による難しさが背景にあるのかもしれません。学校では、子どもが安心して自分の考えを言える力を育てる必要があると考えています。意見を言う場面を増やしたり、クラスの中で安心できる人間関係づくりを工夫したりすることで、自己表現力などを育てていきます。

「がんばる学習」の領域では、「14 子どもは家で読書をしている」において重要度71%に対して実現度34%にとどまりました。学校では、毎朝の読書時間や図書室の活用を通して、子どもが本に親しむ機会を大切にしています。また、読書週間やおすすめ本の紹介など、読書を楽しむ取り組みも行っています。ご家庭でも、短い時間で構いませんので、親子で本を開く時間をつくっていただくと、さらに読書習慣が深まります。

本校では子どもたちに育てたい資質・能力として「問題発見・解決能力」の育成を目指しています。問題(課題)を解決する能力は大人になったときには生きて働く力となります。本校では、子ども自ら自分の問題として課題を捉え、主体的に解決していこうとする授業を日々行っています。学校教育目標は、目指す子ども像の実現に向けて、どこまで達成できているのか、課題が多くみられるのはどの項目かをしっかりと把握し、さらに実現に近づいていくように今後の学校教育を進めていきたいと思っています。今後とも春日野小学校の学校教育へのご理解とご協力何卒よろしくお願い致します。